

令和 7 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生生活活動支援事業活動報告書

団体等名	信州まつぼっくり	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学工学部 2 年
	ふりがな 氏名	ほさか ゆうと 保坂 悠翔
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	こいけ しょうへい 小池 洋平

活動名	第 2 回街中モルック体験会 “街モル” 関連事業
実施時期	2025 年 3 月—2025 年 12 月
実施場所	松本城大手門枡形跡広場、その他松本市中心に県内各地
活動内容	<p>モルックを通じた世代を超えた交流を目指し各地で体験会を行った。 軸としたのは昨年第 1 回を行った我々主催イベント街モル。松本駅から松本城への通り道である大手門枡形跡広場で行うことにより、モルックをまだやったことのない人へ知ってもらえる機会とする。更に、地域に根付いた場所（公民館、福祉ひろば、公園、マルシェ等）にて体験会を行うことで、生活の中にモルックを取り入れて貰うことを目指した。</p> <p>そして今年はその集大成として松本市内で大会を開催した。全く交わることのなかったであろう世代を超えた人たちがモルックを通じてであいい、笑い合う、そんな大会を目指した。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>この事業の軸である第 2 回街モルは第 1 回より人員を増やし開催、結果前回を超える 200 人以上の方にモルックを知っていただくことができた。さらに、松本市と協力し、各地の福祉ひろばを回った体験会では笑顔が見られ、中でも夏休みに開催したものでは、お年寄りの方だけでなく、夏休み中の子どもも一緒になってモルックをし、三世代の交流を実現できた。その他様々な場所に呼んでいただき、上記 10 ヶ月間で 70 件以上の体験会を開催した。体験会をする度、昨年まで「モルックってなんですか？」という反応から「モルック聴いたことはあります」、「モルックやったことある」と変わっていき、モルックの広がりを実感することができた。</p> <p>集大成として挑んだ大会では、2 週間で枠が埋まってしまう盛況ぶりだった。当日は臥雲市長にもお越し頂き、晴天のアルプスが望める中ファミリーから、社会人、お年寄りの方まで、経験者、未経験者すべてのひとが同じトーナメントで戦った。試合中は勝敗にこだわりつつも敵味方関係なくいいプレーはたたえ合い、珍プレーは笑い合いモルックの良さが存分に現れていた。また、若い人もいる中で、お年寄りのチームが準優勝を果たし、表彰式にて「今までスポーツで賞なんて貰ったことなく、この年になってまさかいただけるなんて思っていませんでした。」と言っていたことがとても印象的だった。</p> <p>去年からの 2 年間の活動で、ある程度モルックを広める役目は果たせたと考える。あとは、私たちがいないところで勝手にモルックが広まっていくように、我々に何ができるか考えたい。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4 判 4 枚以内にまとめてください。

※本報告書と併せて、活動内容報告動画及び支出明細書（領収書添付）を提出してください。

※提出された活動報告書等一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。